

「映画館が隆盛だった」ように夜の浅草のにぎわいを取り戻そう。台東区の浅草観光連盟は、喫煙派にも禁煙派にも快適に食事をしてもらうため、「禁煙」「分煙」「喫煙」など五種類のシールを作製し、夜間営業の飲食店を中心に貼り始めた。

(村松権主麿)

「夜の浅草」にぎわい作戦

シールを貼つて、観光客に周知を図っている。

キャンペーン参加店に



「分煙シール」作製

シールは横八ヶ、縦十
三ヶで、「禁煙」が緑、
「分煙」が黄土色、「喫
煙」が青色。百円)を持参すると、特
殊で分煙していま
す」には時間帯を記入す
る欄、「喫煙席ありま
す」には喫煙と禁煙の席
数を記入する欄がある。

都内有数の観光地であ
る浅草は、昼間の観光客
は多いが、夜になると入
りが減り、夕方に閉め
る店も多い。そのため、
観光連盟は今月、「夜の
浅草キャンペーン」を始
めた。まずは夜も営業し
ている六十店を中心にシ
ンでいくといつ。

シールは横八ヶ、縦十
三ヶで、「禁煙」が緑、
「分煙」が黄土色、「喫
煙」が青色。百円)を持参すると、特
殊で分煙していま
す」には時間帯を記入す
る欄、「喫煙席ありま
す」には喫煙と禁煙の席
数を記入する欄がある。

長は「『食事をしたら、
隣でたばこを吸われて不
快だった』という声が寄
せられていた。シールで
分煙状況を確認し、皆さ
んに気持ち良く食事をし

てもいい」と話す。

分煙で夜の集客増を図
めた。まずは夜も営業し
り、今後も長く取り組